

令和4年度 子どもごみ減量講座実施結果概要

■ テーマ

絵本で出会う3R～しゃもじいさんと育む「ものを大切にする心」～

■ 概要

ものを大切にする心を伝える人気絵本「しゃもじいさん」。講座前半では、作者かとうまふみ先生による絵本朗読の後、作品に込めた思いなどを話していただきました。後半のワークショップでは、かとうまふみ先生と一緒に、不用になった布やボタンなどを使って、親子で楽しく指人形をつくりました。講座を通して、子どもたちの「ものを大切にする心」を育みました。

■ 講座の詳細

絵本作家かとうまふみさんを講師に、子どもが興味・関心をもって“ごみ減量・3R”について考えるきっかけとなるよう、体験型の講座を実施しました。

講座は、使われなくなったしゃもじのしゃもじいさんが、新しい働き場所をもとめて仲間と旅にでる絵本「しゃもじいさん」の読み聞かせからスタートしました。真剣に聞き入っていた子どもたちからは、「ものを大切にしたい」、「古い物でも再利用すれば何度でも使えることが分かった」等の感想がありました。また、かとう先生から「しゃもじいさんを書いたきっかけ」、「登場キャラクター秘話」等、絵本にまつわるお話も伺えました。

引き続き、保護者の方も一緒に考える「3Rクイズ」を行いました。「札幌市民一人・一日当りの家庭ごみの排出量は？」、「1リットルの牛乳パック何枚でトイレットペーパー1個ができる？」等、身近な環境問題をクイズ形式で楽しみながら学びました。

最後は、親子で指人形を作るワークショップを行いました。まず、事前に講師が紙粘土で作った様々な形の頭に色付けをし、その後、参加者や講師が持参した家庭で使われなくなった布やボタン、リボン、ビーズなどを使って体部分を作り完成させました。

「使われなくなったものでも、指人形が作れてびっくりした」、「使い捨ての布やかざりでも、組み合わせによりきれいでかわいい指人形ができてうれしい」等の子どもたちの感想から、指人形作りを通してリユースを身近に感じてもらえたようです。

当事業について、保護者より「こういった活動を継続していただき、ごみ減量につながっていくことを願っています」との応援メッセージもありました。

● 「しゃもじいさん」のお話に聞き入る子どもたち



● 指人形作りに夢中な保護者へ、かとう先生から嬉しいアドバイス



● 何問できたかな？「3Rクイズ」に挑戦！

● 不用になった布やボタンなどを使った世界に一つだけの指人形たち

